

利水改善グループ「営農情報」創刊号

H31年3月28日

発行：群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会

編集：群馬用土地改良区



利水改善G発表者を訪ねて

群馬用水で洋ラン栽培

高崎市箕郷町の岡本さん

今号では、第37回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会（H22年2月10日、群馬県JAビル）で、「群馬用水を活用した洋ラン栽培」と題して発表された高崎市箕郷町の岡本弘行さんを紹介합니다。

カトレアの周年切り花栽培を確立

岡本さんは、昭和48年に就農されて洋ランの切り花栽培に取り組み、カトレアとファレノプシスの2種類を導入しました。

平成13年にカトレアの専作経営となり現在は3,630㎡の温室でカトレアの周年栽培（写真上）に取り組んでいます。

訪問した日は、岡本夫妻が丁度カトレアの出荷作業中（写真右下）で、花の選別や包装作業を行っていました。

かん水は全て群馬用水を活用

カトレアのかん水は全て群馬用水を活用しており、特に水温の低い冬期間は水温を上げるため、第1農場では温室地下貯水槽に温水パイプを配管し、第2農場では石油温水ボイラーを装備するなど、工夫して水温管理されています。

現在は長男夫婦と4人で、安定したカトレア専作経営を目指し頑張っています。



「営農情報」発刊にあたって

群馬用水地域利水改善グループ
連絡協議会

会長 坂本 忠

当協議会の運営につきましては、日頃から会員の皆さんより多大なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。また、何かとお忙しい中ご支援、ご指導をいただいている県、市町村、JA、水資源機構をはじめとする関係各位に心より感謝申し上げます。

この度、懸案であった情報紙が関係者の方々のご協力により「営農情報」創刊号として発刊することができ、大変嬉しく思っております。

ご承知のように、当協議会は昭和47年8月に、グループ相互の連絡協調を密にし水利用による農業技術体系を確立するとともに、農業及び生活の合理化を推進し、地域の振興に役立てることを目的に設立されました。今後はこの目的を達成するために従来から開催している体験発表会、視察研修会等の事業と共に当情報紙の紙面も活用して、当協議会の充実強化に努めたいと思います。

終わりに、本紙の発行にあたり、取材協力いただいた生産者の皆さん、編集にご尽力された群馬用水土地改良区の担当者の方々に厚くお礼申し上げます。



「営農情報」発刊に寄せて

群馬用水土地改良区

理事長 平田 英勝

群馬用水地域利水改善グループ連協議会の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

同協議会の新たな事業として、今年度計画されていた情報紙「営農情報」創刊号がこのたび発行され、大変喜ばしく思っております。そして、この情報紙発行が、今後の同協議会の組織強化につながることを期待しています。

さて、最近の農業には新しい動きが色々あり、AI（人工知能）の活用などによる先端技術の開発が急速に進み、スマート農業への取り組みも本格化しています。GAP（農業生産工程管理）の普及も徐々に進んでおり、このような時期に情報紙の果たす役割は大きく、意義があると思います。

群馬用水土地改良区では、今後とも用水の安定供給に全力を注いでまいり所存ですので、引き続き利水改善グループの皆さんのご協力をお願い致します。結びに、地域農業の更なる飛躍と群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会の益々の発展を祈念し、情報紙発刊に寄せてのあいさつといたします。

視察研修会を開催

トキタ種苗大利根農場や ぐんまちゃん家等を視察

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会主催による「平成30年度視察研修会」を、平成30年11月15日に開催しました。当連協主催の視察研修会は平成20年8月以来で、10年振りの開催となりました。

当日は会員及び関係者35人が参加し、大型バスで、埼玉県加須市の「トキタ種苗KK大利根農場（オープンデー）」、東京都中央区銀座の「ぐんま総合情報センター（ぐんまちゃん家）」及び「大型商業施設（「銀座三越」「松屋銀座」の2店舗）の青果物売場を視察しました。

トキタ種苗大利根農場はオープンデー開催日のため、品種展示だけでなく、資材の紹介や試食コーナーもあり大変充実した内容の視察となりました。

昨年銀座7丁目に移転したぐんまちゃん家では、宮崎所長の説明を受けると共に、2階にオープンしたレストラン「銀座つる」で、昼食を兼ねて群馬県産食材を使った料理で会食会を行いましたが大変美味しく好評でした。



[写真右上] 平成30年度視察研修会で、トキタ種苗大利根農場オープンデー会場の「露地野菜新品種、有望品種展示ほ場」を視察する当連協会員などの来場者

[写真右中] 平成30年度視察研修会で、トキタ種苗大利根農場オープンデー会場の「試食コーナー」テント前に並ぶ当連協会員などの来場者

[写真右下] 平成30年度視察研修会で、ぐんまちゃん家の2階レストラン「銀座つる」において、昼食を兼ねた会食会に出席し、食事中の参加者

平成30年度 群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会 役員名簿

役職名	氏名	所属グループ	委員	大竹 正	北橋花卉園芸組合
会長	坂本 忠	JA前橋市粕川支所露地生産部会 粕川(粕)園芸組合	委員	小林 祐伊知	北橋ネギ部会
			委員	萩原 勝吉	北橋椎茸組合
			委員	奈良 新作	北橋雨よけホウレンソウ組合
副会長	皆川 孝	JA北群渋川ねぎ部会	委員	清水 久義	久留馬選果場梨部
委員	小野里 功	芳賀花・植木園芸組合	委員	島方 当巳夫	JAはぐくみみさと梅部会
委員	狩野 富一	JA前橋市富士見支所園芸協議会	委員	岡本 昭夫	JAはぐくみ東部園芸出荷部会
委員	小池 勤	群馬用水上ノ原組合	監事	森田 幸道	北橋蔬菜組合
委員	小谷野 修	高源地果樹組合	監事	生方 俊夫	子持園芸組合
委員	外丸 定雄	JA北群渋川にら部会	監事	高橋 正好	JAはぐくみネギ部会
委員	南 博	榛東村園芸生産組合	参与	小和瀬 眞一	JAはぐくみみさと梅部会
委員	飯塚 永一	榛東村下仁田ネギ生産組合	顧問	平田 英勝	群馬用水土地改良区(理事長)
委員	池田 一美	子持園芸組合			

利水改善G体験発表会盛大に開催



群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会及び群馬用水営農推進協議会が主催し、群馬用水土地改良区が協賛して、「第46回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会、平成30年度各種表彰式、講演会」が平成31年2月7日、群馬県公社総合ビル多目的ホールにおいて、会員や関係者178人が出席して盛大に開催されました(写真左上、左下)。

体験発表会は、前橋市粕川町の正田健一さんが「ネギを中心とした露地野菜経営」、高崎市西国分町の清水雅夫さんが「群馬用水利用による果菜苗生産を主体とした複合経営」と題してそれぞれ発表されました。内容も充実していて高い評価がありました。

各種表彰式では、最初に優良農家の表彰があり、前橋市小坂子町の小林秀雄さん、洪川市赤城町の藤川三雄さん、高崎市西国分町の飯出重太郎さんの3人が受賞しました。続いて露地ナス立毛共励会と秋冬ネギ共励会の入賞者16人が表彰されました(下表参照)。

また、優良農家3人と各共励会の最優秀賞受賞者2人には理事長賞も授与されました。

記念講演会は、前橋青果株式会社代表取締役社長の新宮晋氏を講師に迎え、「青果物流通の現状と今後の方向」と題してお願いし、新制度の概要等大変有意義な講演でした。

平成30年度各種表彰事業(共励会)受賞者名簿 (敬称略)

共励会名	夏秋ナス立毛共励会		秋冬ネギ共励会	
表彰名	氏名	市町村	氏名	市町村
最優秀賞	前原章吾	前橋市	小林祐伊知	洪川市
優秀賞	宮田健次	前橋市	三浦恒雄	前橋市
優秀賞	田所恭一	前橋市	茂木美一	前橋市
優良賞	柳井定義	前橋市	都丸悟	洪川市
優良賞	桑子俊夫	桐生市	高野実	吉岡町
優良賞	石原勉	前橋市	横堀万平	前橋市
優良賞	森田幸道	洪川市	須田正代	前橋市
優良賞	—	—	猪熊修一	前橋市
優良賞	—	—	戸塚利夫	高崎市



[写真上]各種表彰式で、賞状を授与する群馬用水営農推進協議会の関田会長と受賞者

あ と が き

会員の皆さんから利水改善グループの活動について、もっと知りたいとの声があり、情報紙作成の準備を進めてきましたが、関係者の協力を得てここに発行することができました。今号では、最近開催された行事の紹介を中心に掲載しましたが、皆様のご意見をお聞かせください。(事務局 町田)